

注3

大学番号：私立260

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

帝塚山大学 経済経営学部 経済経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人帝塚山学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局次長 コメダ 米田 ジュン 準

電話番号 0742-48-9122

（夜間） 0742-48-9122

F A X 0742-48-9135

e-mail shomu@jimu.tezukayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経済経営学部

＜経済経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人帝塚山学園

(2) 大学名

帝塚山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒631-8501

奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシカワ カツヒサ) 吉川 勝久 (平成27年4月)		
学長	(レンゲ カズミ) 蓮花 一己 (平成29年4月)		
学部長	(クマガイ レイコ) 熊谷 礼子 (平成30年4月)		
学科長等	(マツギ サトコ) 松木 智子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
経済経営学部 経済経営学科 学士（経済学）	経済学関係	4年	210人	年次人	840人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	210人 () []	-人 () []	210人 () []	-人 () []	210人 () []	-人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.21倍	倍	
志願者数	1425 () [64]	() () []	2388 () [84]	() () []	2326 () [50]	() () []							
受験者数	1243 () [60]	() () []	2169 () [74]	() () []	2080 () [48]	() () []							
合格者数	740 () [42]	() () []	551 () [15]	() () []	591 () [12]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	290 () [34]	() () []	251 () [13]	() () []	223 () [10]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.38		1.19		1.06								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	290 [34] (-)	[-] (-)	251 [13] (-)	[-] (-)	223 [10] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		271 [32] (-)	[-] (-)	242 [12] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		255 [31] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	290 [34] (-)		522 [45] (-)		720 [53] (-)		[] ()		[] ()		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	290 人	19 人	平成30年度	19 人	2 人	就学意欲の低下(3人)、他の教育機関への転学(6人)、身体疾患(1人)、一身上の都合(2人)、就職(6人)、除籍(1人) [他の教育機関への転学(1人)、一身上の都合(1人)]
令和元年度	522 人	27 人	平成30年度	17 人	1 人	就学意欲の低下(7人)、他の教育機関への転学(1人)、身体疾患(1人)、就職(3人)、除籍(5人) [他の教育機関への転学(1人)]
			令和元年度	10 人	1 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(5人)、就職(2人)、除籍(1人) [他の教育機関への転学(1人)]
令和2年度	720 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		46 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{19}{290} = \boxed{6.55} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{27}{522} = \boxed{5.17} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{720} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済経営学部 経済経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								2
	統計・情報D(コンピュータリテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
	社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								1
	社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1
	社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1
小計(24科目)	-										
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								2
	英語A	1前・後	1								6
	英語B	1前・後	1								6
	英語C	1前・後	1								6
	英語D	1前・後	1								6
	英語E	1前・後	1								6
	英語F	2前・後	1								2
	英語G	2前・後	1								2
	英語H	2前・後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								2
	中国語 I	1前・後	2								2
	中国語 II	1前・後	2								2
	ハングル I	1前・後	2								3
	ハングル II	1前・後	2								3
フランス語 I	1前・後	2								2	
フランス語 II	1前・後	2								2	
スペイン語 I	1前・後	2								2	
スペイン語 II	1前・後	2								2	
小計(18科目)	-										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								2
	統計・情報D(コンピュータリテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								2
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
	社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								2
	社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1
	社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1
小計(24科目)	-										
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								5
	英語A	1前・後	1								7
	英語B	1前・後	1								9
	英語C	1前・後	1								7
	英語D	1前・後	1								10
	英語E	1前・後	1								2
	英語F	2前・後	1								3
	英語G	2前・後	1								3
	英語H	2前・後	1								2
	英語S	1後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								6
	大学英語基礎	1後	2								3
	中国語 I	1前・後	2								6
	中国語 II	1前・後	2								3
ハングル I	1前・後	2								3	
ハングル II	1前・後	2								2	
フランス語 I	1前・後	2								2	
フランス語 II	1前・後	2								2	
スペイン語 I	1前・後	2								2	
スペイン語 II	1前・後	2								1	
小計(20科目)	-										

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目Ⅰ群	基礎演習Ⅰ	1前	2			9	7	1					
	基礎演習Ⅱ	1後	2			9	6	1					
	経済学概論	1前	2				2	1					
	経営学概論	1前	2			2	2						
	法学概論	1後		2								2	
	ミクロ経済学入門	1後	2			1	2						
	マクロ経済学入門	1後	2			2	1						
	簿記入門A	1前	2			2	2						
	簿記入門B	1前				2	2						
	ビジネスエコノミクス	1後	2			1							
	IT概論	1後	2			1							
小計(11科目)	-												
専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2										1
	経済・経営のための数学入門	1前	2				1						
	日本史概説A	2前	2										1
	日本史概説B	2後	2										1
	西洋史概説A	2前	2										1
	西洋史概説B	2後	2										1
	東洋史A	2前	2										1
	東洋史B	2後	2										1
	人文地理A	2前	2										1
	人文地理B	2後	2										1
	日本地誌A	2前	2										1
	日本地誌B	2後	2										1
	日本国憲法A	2前	2										1
	日本国憲法B	2後	2										1
	民法	2前	2										1
	商法	2後	2										1
	政治学	2後	2										1
	哲学概説A	2前	2										1
	哲学概説B	2後	2										1
	宗教学	2後	2										1
	特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2			1	1	1					
	特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2			1	1	1					
小計(22科目)	-												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目Ⅰ群	基礎演習Ⅰ	1前	2			8	4	1	2				2
	基礎演習Ⅱ	1後	2			8	4	1	2				2
	経済学概論	1前	2				3						
	経営学概論	1前	2			1	2		1				
	法学概論	1後		2									2
	ミクロ経済学入門	1後	2			1	1	1					
	マクロ経済学入門	1後	2			2	1						
	簿記入門A	1前	2			2	2						1
	簿記入門B	1前				2	2						
	ビジネスエコノミクス	1後	2			2	1						
	IT概論	1後	2			2							1
小計(11科目)	-												
専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2										1
	経済・経営のための数学入門	1前	2										1
	日本史概説A	2前	2										1
	日本史概説B	2後	2										1
	西洋史概説A	2前	2										1
	西洋史概説B	2後	2										1
	東洋史A	2前	2										1
	東洋史B	2後	2										1
	人文地理A	2前	2										1
	人文地理B	2後	2										1
	日本地誌A	2前	2										1
	日本地誌B	2後	2										1
	日本国憲法A	2前	2										1
	日本国憲法B	2後	2										1
	民法	2前	2										1
	商法	2後	2										1
	政治学	2後	2										1
	哲学概説A	2前	2										1
	哲学概説B	2後	2										1
	宗教学	2後	2										1
	特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2			1	1						
	特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2			1	1						
小計(22科目)	-												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	くらしと金融	1前	2								1
	くらしと税	1後	2								1
	ミクロ経済学A	2前	2			1					
	ミクロ経済学B	2後	2			1					
	マクロ経済学A	2前	2			1					
	マクロ経済学B	2後	2			1					
	金融論	2前	2			1					
	金融システム論	2前	2			1					
	ファイナンス入門	2前	2								1
	ファイナンス演習A	2前	2								1
	ファイナンス演習B	2前	2								1
	金融市場の現状	2後	2			1					
	日本経済史	2前	2								1
	西洋経済史	2後	2								1
	経済学史	2後	2								1
専門科目Ⅱ群	アジア経済論	2後	2								1
	財政学	2前	2			1					
	地方財政学	2後	2			1					
	地域経済の現状A	2後	2				1				
	地域経済の現状B	2後	2				1				
経済科目群	経済のためのデータ処理	2前	2								1
	ゲーム理論	3前	2			1					
	経済心理学	3後	2			1					
	国際金融論	3後	2			1					
	証券市場論	3後	2			1					
	国際経済学	3前	2								1
	国際経済事情	3前	2								1
	金融・財政の現状	3前	2			1					
	経済政策論	3前	2			1					
	社会保障論	3後	2			1					
	産業組織論	3前	2			1					
	労働経済学	3前	2				1				
	キャリアの経済学	3前	2			1					
	交通経済学	3前	2								1
	都市経済学	3後	2						1		
	地域経済学	3後	2						1		
	小計(36科目)	-									

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	くらしと金融	1前	2									1
	くらしと税	1後	2									1
	ミクロ経済学A	2前	2				1					
	ミクロ経済学B	2後	2				1					
	マクロ経済学A	2前	2				1					
	マクロ経済学B	2後	2				1					
	金融論	2前	2								1	
	金融システム論	2前	2								1	
	ファイナンス入門	2前	2									1
	ファイナンス演習A	2前	2									1
	ファイナンス演習B	2前	2									1
	金融市場の現状	2後	2								1	
	日本経済史	2前	2									1
	西洋経済史	2後	2									1
	経済学史	2後	2									1
専門科目Ⅱ群	アジア経済論	2後	2				1					
	財政学	2前	2									1
	地方財政学	2後	2									1
	地域経済の現状A	2後	2					1				
	地域経済の現状B	2後	2				1					
経済科目群	経済のためのデータ処理	2前	2									1
	ゲーム理論	3前	2						1			
	経済心理学	3後	2						1			
	国際金融論	3後	2				1					
	証券市場論	3後	2				1					
	国際経済学	3前	2									1
	国際経済事情	3前	2									1
	金融・財政の現状	3前	2								1	
	経済政策論	3前	2				1					
	社会保障論	3後	2				1					
	産業組織論	3前	2				1					
	労働経済学	3前	2				1					
	キャリアの経済学	3前	2				1					
	交通経済学	3前	2									1
	都市経済学	3後	2						1			
	地域経済学	3後	2						1			
	金融論(ファイナンス・プランニング演習A)	2後	2									1
	金融論(ファイナンス・プランニング演習B)	2後	2									1
	小計(38科目)	-										

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群	経営史	1後	2			1						
	日本経営史	2後	2			1						
	企業論	2前	2			1						
	中小企業経営論	3後	2								1	
	経営戦略論	2前	2			1						
	経営組織論	3前	2		1							
	経営管理論	2前	2			1						
	財務管理論	3前	2		1							
	生産管理論	3前	2								1	
	人的資源管理論	3後	2		2							
	マーケティング論	2前	2								1	
	消費者行動論	2後	2								1	
	国際経営論	3前	2								1	
	経営科学	2後	2								1	
	証券投資論	3後	2		1							
	観光ビジネス入門	1後	2		2							
	観光ビジネス論	2前	2		1							
	旅行管理者演習	2前	2								1	
	簿記論Ⅰ	1後	2		1	1						
	簿記論Ⅱ	2前	2			1						
	財務会計論	2前	2			1						
	原価計算論	2後	2		1	1						
	管理会計論	2後	2		1							
	会計情報分析	2後	2		1							
	簿記初級演習	1後	2			1						
	経営のための情報科学	2後	2								1	
コンピュータプログラミング	2前	2			1							
マルチメディアとネットワーク	2前	2			1							
情報とキャリア	2後	2								1		
情報処理入門演習	2後	2			1							
小計(30科目)	-											
専門科目Ⅱ群	統計学入門	2前	2								1	
	応用統計学	2後	2			1						
	専門導入演習	2前	2		8	7	1					
	演習Ⅰ	2後	2		9	8						
	演習Ⅱ	3通	4		9	8						
	演習Ⅲ	4通	4		9	6						
	キャリア演習A	2後	2				1					
	キャリア演習B	2前	2		2							
	キャリア演習C	2後	2			1						
	キャリア演習D	2後	2			1						
	キャリア演習E	2後	2			1						
	キャリア演習F	2前	2								1	
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前	2				1					1
	特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後	2				1					1
	特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前	2				1					1
小計(15科目)	-											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群	経営史	1後	2					1				
	日本経営史	2後	2									1
	企業論	2前	2					1				
	中小企業経営論	3後	2									1
	経営戦略論	2前	2					1				
	経営組織論	3前	2			1						
	経営管理論	2前	2				1					
	財務管理論	3前	2			1						
	生産管理論	3前	2									1
	人的資源管理論	3後	2			2						
	マーケティング論	2前	2								1	
	消費者行動論	2後	2								1	
	国際経営論	3前	2								1	
	経営科学	2後	2								1	
	証券投資論	3後	2			1						
	観光ビジネス入門	1後	2			1						
	観光ビジネス論	2前	2			1						
	旅行管理者演習	2前	2									1
	簿記論Ⅰ	1後	2			1	1					
	簿記論Ⅱ	2前	2				1					
	財務会計論	2前	2				1					
	原価計算論	2後	2				1					
	管理会計論	2後	2			1						
	会計情報分析	2後	2			1						
	簿記初級演習	1後	2					1				1
	経営のための情報科学	2後	2									1
コンピュータプログラミング	2前	2			1							
マルチメディアとネットワーク	2前	2			1							
情報とキャリア	2後	2									1	
情報処理入門演習	2後	2			1							
特殊講義(エフライン本スピリッツ)	2前	2			1							
特殊講義(不動産ビジネス入門)	2後	2			1							
特殊講義(高度観光人材)	2後	2			1							
特殊講義(地域マーケティング)	2後	2			1					1		
特殊講義(ケーススタディ)	2後	2			2					1		
特殊講義(日本経済の発展と課題)	2後	2			2						1	
特殊講義(簿記中級演習)	1後	2			2						1	
小計(37科目)	-											
専門科目Ⅱ群	統計学入門	2前	2									1
	応用統計学	2後	2					1				
	専門導入演習	2前	2		6	5	1	2				
	演習Ⅰ	2後	2		7	6	2	2				
	演習Ⅱ	3通	4		8	6	1					1
	演習Ⅲ	4通	4		8	6	1					1
	キャリア演習A	2後	2					1				
	キャリア演習B	2前	2		2							
	キャリア演習C	2後	2			2						
	キャリア演習D	2後	2			1						
	キャリア演習E	2後	2			1						
	キャリア演習F	2前	2			1					1	
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前	2			1				1		
	特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後	2			1				1		
	特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前	2			1				1		
特殊講義(英語で学ぶ経済・経営)	2前	2									1	
特殊講義(経済学と金融教育)	2前	2			1							
特殊講義(経済学と株式会社投資A)	2前	2			1							
特殊講義(統計データと分析)	3前	2				1						
特殊講義(経済学と株式会社投資B)	3後	2			1							
特殊講義(キャリア演習G)	2後	2			1	1						
小計(21科目)	-											

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国人留学生適用科目	日本語理解(基礎)A	1前	1								1
	日本語理解(基礎)B	1後	1								1
	日本語理解(基礎)C	1前	1								1
	日本語理解(基礎)D	1後	1								1
	日本語理解(基礎)E	1前	1								1
	日本語理解(基礎)F	1後	1								1
	日本語理解(応用)A	1前	1								1
	日本語理解(応用)B	1後	1								1
	日本語理解(応用)C	1前	1								1
	日本語理解(応用)D	1後	1								1
	日本語理解(応用)E	1前	1								1
	日本語理解(応用)F	1後	1								1
	日本事情 A	1前	2								1
	日本事情 B	1後	2								1
小計(14科目)	-										
海外短期語学研修受講留学生適用科目	特別講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・中国)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・中国)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・ニュージーランド)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・ニュージーランド)	2通	4								1
小計(8科目)	-										
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2								1
	インターンシップⅡ	3前	2								1
	キャリアデザインⅠ	1後	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	TF(Tezukayama Family)講座	1後	2								3
小計(5科目)	-										
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1								2
	スポーツ科学B	1後	1								2
	スポーツ科学C	2前	1								1
	スポーツ科学D	2後	1								1
小計(4科目)	-										
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2								1
	スポーツ栄養学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1後	2								1
	スポーツ指導論	1後	2								1
	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツマネジメント	1前	2								3
	スポーツトレーニング論	1前	2								1
	スポーツの歴史と文化	1前	2								1
小計(8科目)	-										
特別科目	特別講義	1前・後	2								2
	小計(1科目)	-									
合計(196科目)	-										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国人留学生適用科目	日本語理解(基礎)A	1前	1									2
	日本語理解(基礎)B	1後	1									2
	日本語理解(基礎)C	1前	1									2
	日本語理解(基礎)D	1後	1									2
	日本語理解(基礎)E	1前	1									1
	日本語理解(基礎)F	1後	1									1
	日本語理解(応用)A	1前	1									1
	日本語理解(応用)B	1後	1									1
	日本語理解(応用)C	1前	1									1
	日本語理解(応用)D	1後	1									1
	日本語理解(応用)E	1前	1									2
	日本語理解(応用)F	1後	1									2
	日本事情 A	1前	2									1
	日本事情 B	1後	2									1
	日本事情 C	1前	2									3
	日本事情 D	1後	2									3
小計(16科目)	-											
海外短期語学研修受講留学生適用科目	特別講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ)	1通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)	2通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン)	1通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)	2通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・中国)	1通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・中国)	2通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ・ニュージーランド)	1通	4									1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ・ニュージーランド)	2通	4									1
小計(8科目)	-											
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2									1
	インターンシップⅡ	3前	2									1
	キャリアデザインⅠ	1後	2									1
	キャリアデザインⅡ	2前	2									1
	TF(Tezukayama Family)講座	1前・後	2									3
小計(5科目)	-											
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1									3
	スポーツ科学B	1後	1									2
	スポーツ科学C	2前	1									1
	スポーツ科学D	2後	1									1
小計(4科目)	-											
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2									1
	スポーツ栄養学	1後	2									1
	スポーツ心理学	1後	2									1
	スポーツ指導論	1後	2									1
	スポーツ社会学	1前	2									1
	スポーツマネジメント	1前	2									2
	スポーツトレーニング論	1前	2									1
	スポーツの歴史と文化	1前	2									1
小計(8科目)	-											
特別科目	特別講義	1前・後	2									4
	小計(1科目)	-										
合計(215科目)	-											

卒業要件及び履修方法	
次の1から5に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。	
1 教養科目	18単位以上
2 言語リテラシー科目	必修科目2単位を含めて8単位以上
3 専門科目	
次の2群に定めるところを含め、必修18単位を含めて74単位以上	
(1) 専門科目Ⅰ群より必修14単位を含めて22単位以上	
① 専門基礎科目より必修14単位を含めて16単位以上	
② 専門基礎関連科目より4単位以上	
(2) 専門科目Ⅱ群より必修4単位を含めて52単位以上	
① 経済科目群より10単位以上	
② 経営科目群より10単位以上	
③ 共通科目群より必修4単位を含めて6単位以上	
4 各科目区分ごとの最低必要単位数を超えて修得した単位は、すべて卒業に必要な単位として算入することができる。	
5 外国人留学生適用科目、海外短期語学研修受講学生適用科目、キャリア形成支援科目、スポーツ関連科目、特別科目については卒業に必要な単位として算入することができる。	
(履修科目の登録の上限：44単位(年間))	

卒業要件及び履修方法	
次の1から5に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。	
1 教養科目	18単位以上
2 言語リテラシー科目	必修科目2単位を含めて8単位以上
3 専門科目	
次の2群に定めるところを含め、必修18単位を含めて74単位以上	
(1) 専門科目Ⅰ群より必修14単位を含めて22単位以上	
① 専門基礎科目より必修14単位を含めて16単位以上	
② 専門基礎関連科目より4単位以上	
(2) 専門科目Ⅱ群より必修4単位を含めて52単位以上	
① 経済科目群より10単位以上	
② 経営科目群より10単位以上	
③ 共通科目群より必修4単位を含めて6単位以上	
4 各科目区分ごとの最低必要単位数を超えて修得した単位は、すべて卒業に必要な単位として算入することができる。	
5 外国人留学生適用科目、海外短期語学研修受講学生適用科目、キャリア形成支援科目、スポーツ関連科目、特別科目については卒業に必要な単位として算入することができる。	
(履修科目の登録の上限：44単位(年間))	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								2
	統計・情報D(コンピュータリテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
	社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								1
	社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1
	社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1
小計(24科目)	—										
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								4
	英語A	1前・後	1								7
	英語B	1前・後	1								9
	英語C	1前・後	1								7
	英語D	1前・後	1								9
	英語E	1前・後	1								6
	英語F	2前・後	1								2
	英語G	2前・後	1								2
	英語H	2前・後	1								1
	英語S	1後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								3
	中国語 I	1前・後	2								2
	中国語 II	1前・後	2								2
	ハンゲル I	1前・後	2								4
	ハンゲル II	1前・後	2								3
フランス語 I	1前・後	2								2	
フランス語 II	1前・後	2								2	
スペイン語 I	1前・後	2								2	
スペイン語 II	1前・後	2								2	
小計(19科目)	—										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								1
	統計・情報D(コンピュータリテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								2
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
	社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								1
	社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1
	社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1
小計(24科目)	—										
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								5
	英語A	1前・後	1								6
	英語B	1前・後	1								8
	英語C	1前・後	1								7
	英語D	1前・後	1								9
	英語E	1前・後	1								2
	英語F	2前・後	1								2
	英語G	2前・後	1								3
	英語H	2前・後	1								2
	英語S	1後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								4
	中国語 I	1前・後	2								5
	中国語 II	1前・後	2								3
	ハンゲル I	1前・後	2								4
	ハンゲル II	1前・後	2								2
フランス語 I	1前・後	2								2	
フランス語 II	1前・後	2								2	
スペイン語 I	1前・後	2								2	
スペイン語 II	1前・後	2								1	
小計(19科目)	—										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目I群	基礎演習 I	1前	2			10	5	1				1
	基礎演習 II	1後	2			10	4	1				1
	経済学概論	1前	2				1	1				1
	経営学概論	1前	2			2	2					
	法学概論	1後		2								2
	ミクロ経済学入門	1後	2			2	1					
	マクロ経済学入門	1後	2			3						
	簿記入門A	1前	2			2	2					
	簿記入門B	1前	2			2	2					
	ビジネスエコノミクス	1後	2			1						
	IT概論	1後	2			1						
小計(11科目)	-											
専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2									1
	経済・経営のための数学入門	1前	2			1	1					
	日本史概説A	2前	2									1
	日本史概説B	2後	2									1
	西洋史概説A	2前	2									1
	西洋史概説B	2後	2									1
	東洋史A	2前	2									1
	東洋史B	2後	2									1
	人文地理A	2前	2									1
	人文地理B	2後	2									1
	日本地誌A	2前	2									1
	日本地誌B	2後	2									1
	日本国憲法A	2前	2									1
	日本国憲法B	2後	2									1
	民法	2前	2									1
	商法	2後	2									1
	政治学	2後	2									1
	哲学概説A	2前	2									1
	哲学概説B	2後	2									1
	宗教学	2後	2									1
	特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2			1	1	1				
	特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2			1	1	1				
小計(22科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目I群	基礎演習 I	1前	2			10	4	1				2
	基礎演習 II	1後	2			10	4	1				2
	経済学概論	1前	2				1	1	1			
	経営学概論	1前	2				1	2		1		
	法学概論	1後		2								2
	ミクロ経済学入門	1後	2			2	1					
	マクロ経済学入門	1後	2			3						
	簿記入門A	1前	2			2	2					2
	簿記入門B	1前	2			2	2					
	ビジネスエコノミクス	1後	2			1						
	IT概論	1後	2			2						
小計(11科目)	-											
専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2									1
	経済・経営のための数学入門	1前	2			1	1					
	日本史概説A	2前	2									2
	日本史概説B	2後	2									2
	西洋史概説A	2前	2									1
	西洋史概説B	2後	2									1
	東洋史A	2前	2									1
	東洋史B	2後	2									1
	人文地理A	2前	2									1
	人文地理B	2後	2									1
	日本地誌A	2前	2									1
	日本地誌B	2後	2									1
	日本国憲法A	2前	2									1
	日本国憲法B	2後	2									1
	民法	2前	2									1
	商法	2後	2									1
	政治学	2後	2									1
	哲学概説A	2前	2									1
	哲学概説B	2後	2									1
	宗教学	2後	2									1
	特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2				1		1			
	特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2				1		1			
小計(22科目)	-											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	くらしと金融	1前	2								1
	くらしと税	1後	2								1
	ミクロ経済学A	2前	2			1					
	ミクロ経済学B	2後	2			1					
	マクロ経済学A	2前	2								1
	マクロ経済学B	2後	2								1
	金融論	2前	2			1					
	金融システム論	2前	2			1					
	ファイナンス入門	2前	2								1
	ファイナンス演習A	2前	2								1
	ファイナンス演習B	2前	2								1
	金融市場の現状	2後	2			1					
	日本経済史	2前	2								1
	西洋経済史	2後	2								1
	経済学史	2後	2								1
専門科目Ⅱ群	アジア経済論	2後	2								1
	財政学	2前	2			1					
	地方財政学	2後	2			1					
	地域経済の現状A	2後	2			1					
	地域経済の現状B	2後	2			1					
経済科目群	経済のためのデータ処理	2前	2								1
	ゲーム理論	3前	2			1					
	経済心理学	3後	2			1					
	国際金融論	3後	2			1					
	証券市場論	3後	2			1					
	国際経済学	3前	2								1
	国際経済事情	3前	2								1
	金融・財政の現状	3前	2			1					
	経済政策論	3前	2			1					
	社会保障論	3後	2			1					
	産業組織論	3前	2			1					
	労働経済学	3前	2			1					
	キャリアの経済学	3前	2			1					
	交通経済学	3前	2								1
	都市経済学	3後	2						1		
	地域経済学	3後	2						1		
	小計(36科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	くらしと金融	1前	2								1
	くらしと税	1後	2								1
	ミクロ経済学A	2前	2				1				
	ミクロ経済学B	2後	2				1				
	マクロ経済学A	2前	2								1
	マクロ経済学B	2後	2								1
	金融論	2前	2				1				
	金融システム論	2前	2				1				
	ファイナンス入門	2前	2								1
	ファイナンス演習A	2前	2								1
	ファイナンス演習B	2前	2								1
	金融市場の現状	2後	2				1				
	日本経済史	2前	2								1
	西洋経済史	2後	2								1
	経済学史	2後	2								1
専門科目Ⅱ群	アジア経済論	2後	2								1
	財政学	2前	2				1				
	地方財政学	2後	2				1				
	地域経済の現状A	2後	2				1				
	地域経済の現状B	2後	2				1				
経済科目群	経済のためのデータ処理	2前	2								1
	ゲーム理論	3前	2				1				
	経済心理学	3後	2				1				
	国際金融論	3後	2				1				
	証券市場論	3後	2				1				
	国際経済学	3前	2								1
	国際経済事情	3前	2								1
	金融・財政の現状	3前	2				1				
	経済政策論	3前	2				1				
	社会保障論	3後	2				1				
	産業組織論	3前	2				1				
	労働経済学	3前	2				1				
	キャリアの経済学	3前	2				1				
	交通経済学	3前	2								1
	都市経済学	3後	2						1		
	地域経済学	3後	2						1		
	金融論(ファイナンス・プランニング演習A)	2後	2								1
	金融論(ファイナンス・プランニング演習B)	2後	2								1
	小計(38科目)	-									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群	経営史	1後	2				1					
	日本経営史	2後	2				1					
	企業論	2前	2				1					
	中小企業経営論	3後	2								1	
	経営戦略論	2前	2				1					
	経営組織論	3前	2			1						
	経営管理論	2前	2				1					
	財務管理論	3前	2			1						
	生産管理論	3前	2								1	
	人的資源管理論	3後	2			2						
	マーケティング論	2前	2								1	
	消費者行動論	2後	2								1	
	国際経営論	3前	2								1	
	経営科学	2後	2								1	
	証券投資論	3後	2			1						
	観光ビジネス入門	1後	2			2					1	
	観光ビジネス論	2前	2			1						
	旅行管理者演習	2前	2								1	
	簿記論Ⅰ	1後	2			1	1					
	経営科目群	簿記論Ⅱ	2前	2			1					
財務会計論		2前	2			1						
原価計算論		2後	2			1	1					
管理会計論		2後	2			1						
会計情報分析		2後	2			1						
簿記初級演習		1後	2				1					
経営のための情報科学		2後	2								1	
コンピュータプログラミング		2前	2			1						
マルチメディアとネットワーク		2前	2			1						
情報とキャリア		2後	2								1	
情報処理入門演習	2後	2			1							
小計(30科目)	-											
専門科目Ⅱ群	統計学入門	2前	2								1	
	応用統計学	2後	2				1					
	専門導入演習	2前	2			8	6	1			1	
	演習Ⅰ	2後	2			10	6				1	
	演習Ⅱ	3通	4			10	6				1	
	演習Ⅲ	4通	4			10	4				1	
	キャリア演習A	2後	2					1				
	キャリア演習B	2前	2			2						
	キャリア演習C	2後	2			1						
	キャリア演習D	2後	2			1						
	キャリア演習E	2後	2			1						
	キャリア演習F	2前	2								1	
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前	2					1				1
	特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後	2					1				1
	特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前	2					1				1
小計(15科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群	経営史	1後	2				1					
	日本経営史	2後	2				1					
	企業論	2前	2				1					
	中小企業経営論	3後	2								1	
	経営戦略論	2前	2				1					
	経営組織論	3前	2			1						
	経営管理論	2前	2				1					
	財務管理論	3前	2			1						
	生産管理論	3前	2								1	
	人的資源管理論	3後	2			2						
	マーケティング論	2前	2								1	
	消費者行動論	2後	2				1				1	
	国際経営論	3前	2								1	
	経営科学	2後	2				1					
	証券投資論	3後	2			1						
	観光ビジネス入門	1後	2			1						
	観光ビジネス論	2前	2			1						
	旅行管理者演習	2前	2								1	
	簿記論Ⅰ	1後	2				1				1	
	経営科目群	簿記論Ⅱ	2前	2				1				1
財務会計論		2前	2				1					
原価計算論		2後	2								1	
管理会計論		2後	2			1						
会計情報分析		2後	2			1						
簿記初級演習		1後	2				1				1	
経営のための情報科学		2後	2			1						
コンピュータプログラミング		2前	2			1						
マルチメディアとネットワーク		2前	2			1						
情報とキャリア		2後	2								1	
情報処理入門演習	2後	2			1							
特殊講義(エフラインホスピタリティ)	2前	2			1							
特殊講義(不動産ビジネス入門)	2後	2			1							
特殊講義(高度観光人材)	2後	2			1							
特殊講義(地域マーケティング)	2後	2			1				1			
特殊講義(ケーススタディ)	2後	2			2				1			
特殊講義(日本経済の発展と課題)	2後	2									1	
小計(36科目)	-											
専門科目Ⅱ群	統計学入門	2前	2				1					
	応用統計学	2後	2					1				
	専門導入演習	2前	2			8	6			1		
	演習Ⅰ	2後	2			9	6			1		
	演習Ⅱ	3通	4			10	6					1
	演習Ⅲ	4通	4			10	4					1
	キャリア演習A	2後	2						1			
	キャリア演習B	2前	2			2						
	キャリア演習C	2後	2					2				
	キャリア演習D	2後	2			1						
	キャリア演習E	2後	2			1						
	キャリア演習F	2前	2							1		
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前	2						1			1
	特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後	2						1			1
	特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前	2						1			1
	特殊講義(英語で学ぶ経済・経営)	2前	2			2						1
	特殊講義(経済学と金融教育)	2前	2				1					
	特殊講義(経済学と株式投資)	2前	2				1					
小計(18科目)	-											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国人留学生適用科目	日本語理解(基礎)A	1前	1								2
	日本語理解(基礎)B	1後	1								2
	日本語理解(基礎)C	1前	1								3
	日本語理解(基礎)D	1後	1								3
	日本語理解(基礎)E	1前	1							1	
	日本語理解(基礎)F	1後	1							1	
	日本語理解(応用)A	1前	1							1	
	日本語理解(応用)B	1後	1							1	
	日本語理解(応用)C	1前	1							1	
	日本語理解(応用)D	1後	1							1	
	日本語理解(応用)E	1前	1							1	
	日本語理解(応用)F	1後	1							1	
	日本事情 A	1前	2								1
	日本事情 B	1後	2								1
	日本事情 C	1前	2								3
	日本事情 D	1後	2								3
小計(16科目)	-										
海外短期語学研修受講留学生適用科目	特別講義(海外文化事情Ⅰ-アメリカ)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-アメリカ)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-スペイン)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-スペイン)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-中国)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-中国)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-ニュージーランド)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-ニュージーランド)	2通	4								1
小計(8科目)	-										
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2								1
	インターンシップⅡ	3前	2								1
	キャリアデザインⅠ	1後	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	TF(Tezukayama Family)講座	1後	2								3
小計(5科目)	-										
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1								3
	スポーツ科学B	1後	1								3
	スポーツ科学C	2前	1								1
	スポーツ科学D	2後	1								1
	小計(4科目)	-									
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2								1
	スポーツ栄養学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1後	2								1
	スポーツ指導論	1後	2								1
	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツマネジメント	1前	2								3
	スポーツトレーニング論	1前	2								1
	スポーツの歴史と文化	1前	2								1
小計(8科目)	-										
特別科目	特別講義	1前-後	2								2
	小計(1科目)	-									
合計(199科目)	-										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国人留学生適用科目	日本語理解(基礎)A	1前	1								2
	日本語理解(基礎)B	1後	1								2
	日本語理解(基礎)C	1前	1								2
	日本語理解(基礎)D	1後	1								2
	日本語理解(基礎)E	1前	1							1	
	日本語理解(基礎)F	1後	1							1	
	日本語理解(応用)A	1前	1							1	
	日本語理解(応用)B	1後	1							1	
	日本語理解(応用)C	1前	1							1	
	日本語理解(応用)D	1後	1							1	
	日本語理解(応用)E	1前	1							1	
	日本語理解(応用)F	1後	1							1	
	日本事情 A	1前	2								1
	日本事情 B	1後	2								1
	日本事情 C	1前	2								3
	日本事情 D	1後	2								3
小計(16科目)	-										
海外短期語学研修受講留学生適用科目	特別講義(海外文化事情Ⅰ-アメリカ)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-アメリカ)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-スペイン)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-スペイン)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-中国)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-中国)	2通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅰ-ニュージーランド)	1通	4								1
	特別講義(海外文化事情Ⅱ-ニュージーランド)	2通	4								1
小計(8科目)	-										
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2								1
	インターンシップⅡ	3前	2								1
	キャリアデザインⅠ	1後	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	TF(Tezukayama Family)講座	1後	2								3
小計(5科目)	-										
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1								3
	スポーツ科学B	1後	1								3
	スポーツ科学C	2前	1								1
	スポーツ科学D	2後	1								1
	小計(4科目)	-									
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2								1
	スポーツ栄養学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1後	2								1
	スポーツ指導論	1後	2								1
	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツマネジメント	1前	2								2
	スポーツトレーニング論	1前	2								1
	スポーツの歴史と文化	1前	2								1
小計(8科目)	-										
特別科目	特別講義	1前-後	2								4
	小計(1科目)	-									
合計(210科目)	-										

卒業要件及び履修方法	
次の1から5に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。	
1 教養科目	18単位以上
2 言語リテラシー科目	必修科目2単位を含めて8単位以上
3 専門科目	
次の2群に定めるところを含め、必修18単位を含めて74単位以上	
(1) 専門科目Ⅰ群より必修14単位を含めて22単位以上	
① 専門基礎科目より必修14単位を含めて16単位以上	
② 専門基礎関連科目より4単位以上	
(2) 専門科目Ⅱ群より必修4単位を含めて52単位以上	
① 経済科目群より10単位以上	
② 経営科目群より10単位以上	
③ 共通科目群より必修4単位を含めて6単位以上	
4 各科目区分ごとの最低必要単位数を超えて修得した単位は、すべて卒業に必要な単位として算入することができる。	
5 外国人留学生適用科目、海外短期語学研修受講学生適用科目、キャリア形成支援科目、スポーツ関連科目、特別科目については卒業に必要な単位として算入することができる。	
(履修科目の登録の上限：44単位(年間))	

卒業要件及び履修方法	
次の1から5に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。	
1 教養科目	18単位以上
2 言語リテラシー科目	必修科目2単位を含めて8単位以上
3 専門科目	
次の2群に定めるところを含め、必修18単位を含めて74単位以上	
(1) 専門科目Ⅰ群より必修14単位を含めて22単位以上	
① 専門基礎科目より必修14単位を含めて16単位以上	
② 専門基礎関連科目より4単位以上	
(2) 専門科目Ⅱ群より必修4単位を含めて52単位以上	
① 経済科目群より10単位以上	
② 経営科目群より10単位以上	
③ 共通科目群より必修4単位を含めて6単位以上	
4 各科目区分ごとの最低必要単位数を超えて修得した単位は、すべて卒業に必要な単位として算入することができる。	
5 外国人留学生適用科目、海外短期語学研修受講学生適用科目、キャリア形成支援科目、スポーツ関連科目、特別科目については卒業に必要な単位として算入することができる。	
(履修科目の登録の上限：44単位(年間))	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**本字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容充実の理由により、「日本語表現」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語A」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語B」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語C」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語D」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「英語S」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「大学英語入門」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ハンゲルI」の担当者を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「基礎演習I」の教員の配置を「教授9、准教授7、講師1」から「教授10、准教授5、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「基礎演習II」の教員の配置を「教授9、准教授6、講師1」から「教授10、准教授4、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経済学概論」の教員の配置を「准教授2、講師1」から「准教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「ミクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授3」に変更。
- ・教育内容充実のため担当者追加の理由により、「経済・経営のための数学入門」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学A」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学B」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状A」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状B」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「労働経済学」の教員の専任配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「キャリアの経済学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「専門導入演習」の専任教員の配置を「教授8、准教授7、講師1」から「教授8、准教授6、講師1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習I」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授10、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習II」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授10、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習III」の教員の配置を「教授9、准教授6」から「教授10、准教授4、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実のため担当者追加の理由により、「観光ビジネス入門」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2、兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）A」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）B」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）C」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）D」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「日本事情C」「日本事情D」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「スポーツ科学A」「スポーツ科学B」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。

【令和元年度】

- ・担当者変更の理由により、「統計・情報C(リサーチ入門)」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「歴史・人文A(世界近現代史)」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語表現」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語B」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語C」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語D」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語E」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語H」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「英語S」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「大学英語入門」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「中国語I」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「中国語II」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ハンブルクI」の担当者を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「スペイン語II」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員新規採用、担当者退職による変更、教授昇任、教育内容充実等の理由により、「基礎演習I」の教員の配置を「教授9、准教授7、講師1」から「教授10、准教授4、講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員新規採用、担当者退職による変更、教授昇任、教育内容充実等の理由により、「基礎演習II」の教員の配置を「教授9、准教授7、講師1」から「教授10、准教授4、講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「経済学概論」の教員の配置を「准教授2、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「経営学概論」の教員の配置を「教授2、准教授2」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「ミクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「IT概論」の担当者を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育内容充実のため担当者追加の理由により、「経済・経営のための数学入門」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状A」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状B」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「簿記入門A」の担当者を「教授2、准教授2」から「教授2、准教授2、兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本史概説A」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本史概説B」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「特殊講義(社会人基礎力A)」の教員の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「特殊講義(社会人基礎力B)」の教員の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「労働経済学」の教員の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「キャリアの経済学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(ファイナンシャル・プランニング発展A)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(ファイナンシャル・プランニング発展B)」を新規に追加。
- ・専任教員新規採用による担当者変更等の理由により、「マーケティング論」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員新規採用による担当者変更等の理由により、「消費者行動論」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「観光ビジネス入門」の教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「簿記論I」の教員の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「簿記論II」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「原価計算論」の教員の配置を「教授1、准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「簿記初級演習」の担当者を「准教授1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(エアラインホスピタリティ)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(不動産ビジネス入門)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(高度観光人材)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(地域7ヶイブナーンク)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(ケーススタディ)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(日商簿記2級商業簿記/特殊論点編)」を新規に追加。
- ・専任教員新規採用、担当者退職、教授昇任等による変更の理由により、「専門導入演習」の専任教員の配置を「教授8、准教授7、講師1」から「教授8、准教授6、講師1」に変更。
- ・専任教員新規採用、担当者退職、教授昇任等の理由により、「演習I」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授9、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習II」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授10、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習III」の教員の配置を「教授9、准教授6」から「教授10、准教授4、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「キャリア演習C」の担当者を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「キャリア演習F」の担当者を「兼任・兼任1」から「助教1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(英語で学ぶ経済・経営)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(経済学と金融教育)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義(経済学と株式投資A)」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)A」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)B」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)C」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)D」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)E」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(基礎)F」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(応用)A」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(応用)B」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(応用)E」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解(応用)F」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「日本事情C」「日本事情D」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「スポーツ科学A」「スポーツ科学B」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「スポーツマネジメント」の担当者を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「特別講義」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。

【令和2年度】

- ・教育内容充実の理由により、「歴史・人文A（世界近現代史）」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「社会・文化H（地域と社会貢献）」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語表現」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語A」の教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語B」の教員の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語D」の教員の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語F」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語G」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「大学英語入門」の教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「大学英語基礎」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「中国語I」の教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ハングルII」の担当者を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員新規採用、担当者退職による変更、教育内容充実等の理由により、「基礎演習I」の教員の配置を「教授10、准教授4、講師1、助教1、兼任・兼任2」から「教授8、准教授4、講師1、助教2、兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員新規採用、担当者退職による変更、教育内容充実等の理由により、「基礎演習II」の教員の配置を「教授10、准教授4、講師1、助教1、兼任・兼任2」から「教授8、准教授4、講師1、助教2、兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経済学概論」の教員の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「准教授3」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経営学概論」の教員の配置を「教授2、准教授2」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ミクロ経済学入門」の教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「マクロ経済学入門」の教員の配置を「教授3」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「簿記入門A」の教員の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授2、准教授2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「IT概論」の教員の配置を「教授2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経済・経営のための数学入門」の教員の配置を「教授1、准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本史概説A」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本史概説B」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「特殊講義（社会人基礎力A）」の教員の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「特殊講義（社会人基礎力B）」の教員の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、昨年度開講しなかった「マクロ経済A」の教員の配置を「准教授1」で開講。
- ・担当者変更の理由により、昨年度開講しなかった「マクロ経済B」の教員の配置を「准教授1」で開講。
- ・担当者変更の理由により、「金融論」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「金融システム論」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「金融市場の現状」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アジア経済論」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「財政学」の教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「地方財政学」の教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「ゲーム理論」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経済心理学」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「金融・財政の現状」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本経営史」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「消費者行動論」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経営科学」の教員の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「簿記論I」の教員の配置を「准教授1、兼任・兼任1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「簿記論II」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「原価計算論」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経営のための情報科学」の教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「特殊講義（簿記中級演習）」を「兼任・兼任1」で新規に追加。
- ・担当者退職による変更の理由により、「統計学入門」の教員の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、理由により、「専門導入演習」の専任教員の配置を「教授8、准教授6、講師1」から「教授6、准教授5、講師1、助教2」に変更。
- ・担当者退職による変更、専任教員新規採用の理由により、「演習I」の専任教員の配置を「教授9、准教授6、講師1」から「教授7、准教授6、講師2、助教2」に変更。
- ・担当者退職による変更、専任教員新規採用の理由により、「演習II」の専任教員の配置を「教授10、准教授6、兼任・兼任1」から「教授8、准教授6、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「キャリア演習F」の担当者を「助教1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「特殊講義（アドバンスプログラムA）」の担当者を「講師1、兼任1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「特殊講義（アドバンスプログラムB）」の担当者を「講師1、兼任1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「特殊講義（アドバンスプログラムC）」の担当者を「講師1、兼任・兼任1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、新規開講科目「特殊講義（統計データ分析）」を「准教授1」で開講。
- ・教育内容充実の理由により、新規開講科目「特殊講義（経済学と株式投資B）」を「教授1」で開講。
- ・教育内容充実の理由により、新規開講科目「特殊講義（キャリア演習G）」を「教授1、准教授1」で開講。
- ・担当者変更の理由により、「日本語理解（基礎）E」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本語理解（基礎）F」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本語理解（応用）A」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日本語理解（応用）B」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「TF（TezukayamaFamily）講座」の教員の配置を「教授1、兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「スポーツ科学B」の教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	187 科目		196 科目	9 科目 []	206 科目 [+19]		215 科目 [+19]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本地誌A	2	2	専門	選択	担当教員の辞退による、次年度は開講予定
2	日本地誌B	2	2	専門	選択	担当教員の辞退による、次年度は開講予定
3	地域経済の現状A	2	2	専門	選択	学生への学修効果を考慮し、隔年開講科目としての初年度を令和3年度へ変更
4	経済のためのデータ処理	2	2	専門	選択	担当教員の辞退による、次年度は開講予定
5	スポーツトレーニング論	2	1	一般	選択	担当教員の辞退による、次年度は開講予定
6	特殊講義（経済学と株式投資A）	2	2	専門	選択	学生への学修効果を考慮し、隔年開講科目として令和3年度へ変更
7	キャリア演習D	2	2	専門	選択	学生への学修効果を考慮し、隔年開講科目としての令和2年度を令和3年度へ変更
8	インターンシップⅡ-1	2	3	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大のため、対面授業が成立しなくなった為。次年度は実施予定
9	インターンシップⅡ-2	2	3	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大のため、対面授業が成立しなくなった為。次年度は実施予定
10	特殊講義（海外文化事情Ⅰ・アメリカ）	4	1	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大のため、授業が成立しなくなった為。次年度は実施予定
11	特殊講義（海外文化事情Ⅱ・アメリカ）	4	1	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大のため、授業が成立しなくなった為。次年度は実施予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修要項および履修ガイダンスの際に令和2年度は不開講である旨は周知している。
 令和3年度は開講予定である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{196} = \boxed{5.61} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・帝塚山中学校 収容定員 960人 運動場基準面積 8,400㎡ ・帝塚山高等学校 収容定員1,350人 運動場基準面積 8,400㎡		
	校舎敷地	57,952.58㎡	1,367.25㎡	19,260.07㎡	78,579.90㎡			
	運動場用地	135,854.66㎡	— ㎡	28,907.28㎡	164,761.94㎡			
	小 計	193,807.24㎡	1,367.25㎡	48,167.35㎡	243,341.84㎡			
	そ の 他	3,850.73㎡	— ㎡	2,450.93㎡	6,301.66㎡			
	合 計	197,657.97㎡	1,367.25㎡	50,618.28㎡	249,643.50㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・帝塚山中学校 収容定員 960人 校舎基準面積 5,160㎡ ・帝塚山高等学校 収容定員1,350人 校舎基準面積 6,840㎡			
	56,649.28㎡ (56,649.28㎡)	3,658.24㎡ (3,658.24㎡)	25,818.63㎡ (25,818.63㎡)	86,126.15㎡ (86,126.15㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	0 4室 (補助職員 人) (補助職員 人)		
	70 69 74室	82 80 79室	59 58室	25 26 25室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			室		
	経済経営学部 経済経営学科		46 45 47					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、 大学全体の取 圖書の増は受入分を加算したた め。(30) 視聴覚の減は除籍した分を減算 したため。(30) 圖書の増は受入分を加算したた め。(元) 視聴覚の減は除籍した分を減算 したため。(元) 図書・学術雑誌・視聴覚の増は 受入分を加算したため(2) 機械・器具の減は 除却△396購入+73 による(30) 機械・器具の減は 除却△56購入+156 による(元) 機械・器具の減は 除却△217購入+68 による(2) 標本の減は 除却△11による(元) 標本の減は 除却△41による(2)
	経済経営学部 経済経営学科	640,000[125,800] (633,167[125,810]) (629,487[125,434]) (626,283[124,986]) (624,000[124,600])	5,162[1,323] 5,148[1,322] 5,129[1,319] 5,176[1,311]	59 [0] -58 [0]	11,540	11,314 11,463 11,363 11,686	227 234 232	
		(633,167[125,810]) (629,487[125,434]) (626,283[124,986]) (624,000[124,600])	(5,162[1,323]) (5,148[1,322]) (5,129[1,319]) (5,176[1,311])	(59 [0]) (-58 [0])	(10,836) (10,770) (10,719) (11,140)	(11,314) (11,463) (11,363) (11,686)	(227) (234) (232)	
	計	640,000[125,800]	5,162[1,323] 5,148[1,322] 5,129[1,319] 5,176[1,311]	59 [0] -58 [0]	11,540	11,314 11,463 11,363 11,686	227 234 232	
		(633,167[125,810]) (629,487[125,434]) (626,283[124,986]) (624,000[124,600])	(5,162[1,323]) (5,148[1,322]) (5,129[1,319]) (5,176[1,311])	(59 [0]) (-58 [0])	(10,836) (10,770) (10,719) (11,140)	(11,314) (11,463) (11,363) (11,686)	(227) (234) (232)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席数の増加は間接机の移動に よるもの(30) 座席数の減少はパソコン机撤去 によるもの(元)	
	4,810.30㎡		561 席 565 席 553 席		551,500 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	1,638.90㎡		野球・サッカー場1面、陸上競技・ラグビー場1面、 テニスコート5面					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	実務系 450千円 非常務系 450千円	実務系 450千円 非常務系 450千円	図書購入費	2,490千円	2,490千円	2,490千円	
	共同研究費等	3,660千円	3,660千円	設備購入費	7,960千円	7,960千円	7,960千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,180千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	帝塚山大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	110		440	学士(文学)	1.10			平成11年度	奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号	
日本文化学科	4	110	—	440	学士(文学)	1.10		平成11年度			
文化創造学科	4	—	—	—	学士(文学)	—		平成26年度			平成30年学生募集停止
経済学部	4	—	—	—	—	—		昭和62年度	同上		平成30年学生募集停止
経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—		昭和62年度			
経営学部	4	—	—	—	—	—		平成10年度	同上		平成30年学生募集停止
経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—		平成10年度			
経済経営学部	4	210	—	630	—	1.21		平成30年度	同上		
経済経営学科	4	210	—	630	学士(経済学)	1.21		平成30年度			
法学部	4	95	—	380	—	1.23		平成22年度	同上		
法学科	4	95	—	380	学士(法学)	1.23		平成22年度			
心理学部	4	100	—	400	—	1.27		平成16年度	奈良県奈良市学園南三丁目1番3号		
心理学科	4	100	—	400	学士(心理)	1.27		平成16年度			
現代生活学部	4	190	—	760	—	1.15		平成16年度	同上		
食物栄養学科	4	120	—	480	学士(栄養)	0.99		平成16年度			
居住空間デザイン学科	4	70	—	280	学士(生活科学)	1.31		平成16年度			
こども学科	4	—	—	—	学士(こども学)	—		平成21年度			平成31年学生募集停止
教育学部	4	100	—	200	—	1.12		平成31年度	同上		
こども教育学科	4	100	—	200	学士(こども教育)	1.12		平成31年度			
人文科学研究科 日本伝統文化専攻										奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号	
博士前期課程	2	8	—	16	修士(文学)	0.74		平成8年度			
博士後期課程	3	2	—	6	博士(文学)	0.50		平成10年度			
心理科学研究科 心理科学専攻										奈良県奈良市学園南三丁目1番3号	
博士前期課程	2	20	—	40	修士(心理学)	0.42		平成24年度			平成30年入学定員変更(3)
博士後期課程	3	3	—	9	博士(心理学)	0.00		平成24年度			
大学全体	—	838	—	2571	—	1.17		—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	向井 篤弘 (53) <平成30年4月> M.B.A.(米國) 博士(経済学)	簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (51) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ
専	教授	高橋 泰秀 (50) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保険論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (48) <平成30年4月> 博士(観光学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	熊谷 礼子 (48) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木(浦西) 智子 (47) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	志馬 祥紀 (40) <平成30年4月> 博士(経済学) 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	向井 篤弘 (54) <平成30年4月> M.B.A.(米國) 博士(経済学)	簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (52) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ
専	教授	高橋 泰秀 (51) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保険論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (49) <平成30年4月> 博士(観光学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	熊谷 礼子 (49) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木(浦西) 智子 (48) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	志馬 祥紀 (47) <平成30年4月> 博士(経済学) 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ マクロ経済学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	向井 篤弘 (55) <平成30年4月> M.B.A.(米國) 博士(経済学)	簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (53) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ 特殊講義(不動産ビジネス入門)
専	教授	高橋 泰秀 (52) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保険論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (50) <平成30年4月> 博士(観光学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 観光ビジネス論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ 特殊講義(高度観光人材)
専	教授	熊谷 礼子 (50) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木(浦西) 智子 (49) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	志馬 祥紀 (40) <平成30年4月> 博士(経済学) 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ マクロ経済学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	向井 篤弘 (56) <平成30年4月> M.B.A.(米國) 博士(経済学)	簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (54) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ 特殊講義(不動産ビジネス入門)
専	教授	高橋 泰秀 (53) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保険論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (51) <平成30年4月> 博士(観光学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 観光ビジネス論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ 特殊講義(高度観光人材)
専	教授	熊谷 礼子 (51) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木(浦西) 智子 (50) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 特殊講義(社会人基礎力A) 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	志馬 祥紀 (49) <平成30年4月> 博士(経済学) 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ マクロ経済学入門

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	竹本 亨 (45) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 財政学 専門導入演習 地方財政学 演習Ⅰ ゲーム理論 演習Ⅱ 経済心理学 演習Ⅲ
		近藤(太田) 江美 (44) <平成30年4月> 修士(商学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専任	准教授	吉村 泰志 (43) <平成30年4月> 修士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		水谷 覚 (42) <平成30年4月> 博士(マネジメント)	簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専任	准教授	福田 新 (39) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		蟹 雅代 (37) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済・経営のための数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	竹本 亨 (46) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 財政学 専門導入演習 地方財政学 演習Ⅰ ゲーム理論 演習Ⅱ 経済心理学 演習Ⅲ
		近藤(太田) 江美 (45) <平成30年4月> 修士(経済学) 修士(商学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専任	准教授	吉村 泰志 (44) <平成30年4月> 修士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		水谷 覚 (43) <平成30年4月> 博士(マネジメント)	簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専任	准教授	福田 新 (40) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		蟹 雅代 (38) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済・経営のための数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	竹本 亨 (47) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 財政学 専門導入演習 地方財政学 演習Ⅰ ゲーム理論 演習Ⅱ 経済心理学 演習Ⅲ 経済学概論
		近藤(太田) 江美 (46) <平成30年4月> 修士(経済学) 修士(商学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専任	准教授	吉村 泰志 (45) <平成30年4月> 修士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		水谷 覚 (44) <平成30年4月> 博士(マネジメント)	簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専任	准教授	福田 新 (41) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ キャリア演習C
		蟹 雅代 (39) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済・経営のための数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹本 亨 (48) <平成30年4月> 博士(経済学)	財政学 地方財政学 演習Ⅱ
		近藤(太田) 江美 (47) <平成30年4月> 修士(経済学) 修士(商学)	基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専任	准教授	吉村 泰志 (46) <平成30年4月> 修士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
		水谷 覚 (45) <平成30年4月> 博士(マネジメント)	簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 簿記論Ⅱ 原価計算論 特殊講義(社人基礎力A) 特殊講義(社人基礎力B)
専任	准教授	福田 新 (42) <平成30年4月> 博士(経営学)	基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ キャリア演習C(企業実務)
		蟹 雅代 (40) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済・経営のための数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ 特殊講義(統計データ解析) 特殊講義(キャリア演習G)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	井川(平尾) 静恵 (37) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A【隔年】 地域経済の現状B【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	寺地 祐介 (38) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A 特殊講義(社会人基礎力A) 専門導入演習 ミクロ経済学B 演習Ⅰ 特殊講義(社会人基礎力B) 演習Ⅱ
専	准教授	川岸 岳人 (34) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 経済学概論 マクロ経済学入門 専門導入演習 マクロ経済学A マクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	講師	荒木 大恵 (33) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井川(平尾) 静恵 (39) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A【隔年】 地域経済の現状B【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	寺地 祐介 (37) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A 特殊講義(社会人基礎力A) 専門導入演習 ミクロ経済学B 演習Ⅰ 特殊講義(社会人基礎力B) 演習Ⅱ
専	兼任 講師	川岸 岳人 (35) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済学概論 専門導入演習 マクロ経済学A マクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	講師	荒木 大恵 (34) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井川(平尾) 静恵 (39) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A【隔年】 地域経済の現状B【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ キャリア演習D ミクロ経済学入門
専	准教授	寺地 祐介 (38) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	荒木 大恵 (35) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC)
専	助教	薄井 健 (30) <平成31年4月> 修士(商学)	マーケティング論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 経営学概論 特殊講義(地域77イノベーション) キャリア演習F 特殊講義(キャリア)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井川(平尾) 静恵 (40) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A【隔年】 地域経済の現状B【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ キャリア演習D 特殊講義(キャリア演習G)
専	准教授	寺地 祐介 (39) <平成30年4月> 博士(経済学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A 専門導入演習 ミクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 経済学概論
専	講師	荒木 大恵 (36) <平成30年4月> 修士(経済学)	基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC) 金融・財政の現状
専	助教	薄井 健 (31) <平成31年4月> 修士(商学)	マーケティング論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 特殊講義(地域77イノベーション) キャリア演習F 特殊講義(キャリア) 演習Ⅰ 専門導入演習 演習Ⅱ 消費者行動論
専	助教	郭 チャリ (31) <令和2年4月> 博士(経営学)	金融論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 専門導入演習 金融システム論 金融市場の現状
専	准教授	中川 雅嗣 (64) <令和2年4月> 博士(経済学)	経済学概論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ マクロ経済学A マクロ経済学B マクロ経済学入門

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 教授		RODNEY ARTHUR DUNHAM (63) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G	
兼任 講師		RODNEY ARTHUR DUNHAM (63) <平成31年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G	
兼任 教授		池田 眞寸子 (59) <平成30年4月> 教育学修士	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 英語H	
兼任 教授		北本 晃治 (59) <平成30年4月> 文学修士 M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F 英語G	
兼任 教授		MARC JOHN SHEFFNER (59) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F	
兼任 教授		川口 洋 (57) <平成30年4月> 博士(文学)	
		人文地理A 日本地誌A 人文地理B 日本地誌B	
兼任 教授		大西 智之 (57) <平成30年4月> 文学修士	
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語表現 中国語 I 中国語 II 特殊講義(海外文化事情 I・中国) 特殊講義(海外文化事情 II・中国)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 教授		RODNEY ARTHUR DUNHAM (64) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G	
兼任 講師		RODNEY ARTHUR DUNHAM (64) <平成31年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G	
兼任 教授		池田 眞寸子 (60) <平成30年4月> 教育学修士	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 英語H	
兼任 教授		北本 晃治 (60) <平成30年4月> 文学修士 M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F 英語G	
兼任 教授		MARC JOHN SHEFFNER (60) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F	
兼任 教授		川口 洋 (58) <平成30年4月> 博士(文学)	
		人文地理A 日本地誌A 人文地理B 日本地誌B	
兼任 教授		大西 智之 (58) <平成30年4月> 文学修士	
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語表現 中国語 I 中国語 II 特殊講義(海外文化事情 I・中国) 特殊講義(海外文化事情 II・中国) 日本語表現	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 教授		RODNEY ARTHUR DUNHAM (65) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G	
兼任 講師		RODNEY ARTHUR DUNHAM (65) <平成31年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G 英語H 大学英語入門	
兼任 教授		池田 眞寸子 (61) <平成30年4月> 教育学修士	
		英語C 英語D 大学英語入門 英語H	
兼任 教授		北本 晃治 (61) <平成30年4月> 文学修士 M.A.(米國)	
		英語B 英語D	
兼任 教授		MARC JOHN SHEFFNER (61) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F	
兼任 教授		川口 洋 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	
		人文地理A 日本地誌A 人文地理B 日本地誌B 特別講義	
兼任 教授		大西 智之 (59) <平成30年4月> 文学修士	
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語理解(基礎) E 日本語理解(基礎) F 日本語理解(応用) A 日本語理解(応用) B 日本語表現 中国語 I 中国語 II 特殊講義(海外文化事情 I・中国) 特殊講義(海外文化事情 II・中国) 日本語表現	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 講師		RODNEY ARTHUR DUNHAM (66) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語C 英語E 英語F 英語G 英語H 大学英語入門 大学英語基礎	
兼任 講師		RODNEY ARTHUR DUNHAM (66) <平成31年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語C 英語G 英語H 大学英語入門 大学英語基礎	
兼任 教授		池田 眞寸子 (62) <平成30年4月> 教育学修士	
		英語C 英語D 大学英語入門	
兼任 教授		北本 晃治 (62) <平成30年4月> 文学修士 M.A.(米國)	
		英語B 英語D	
兼任 教授		MARC JOHN SHEFFNER (62) <平成30年4月> M.A.(米國)	
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F	
兼任 講師		渡邊 康代 (47) <平成27年4月> 博士(文学)	
		人文地理A 人文地理B	
兼任 教授		大西 智之 (60) <平成30年4月> 文学修士	
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語理解(基礎) E 日本語理解(基礎) F 日本語理解(応用) A 日本語理解(応用) B 日本語表現 中国語 I 中国語 II 特殊講義(海外文化事情 I・中国) 特殊講義(海外文化事情 II・中国) 日本語表現	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊森 浩幸 (56) <平成30年4月> 博士(文学)	日本史概説A
兼任	教授	佐野 隆 (56) <平成30年4月> 法学修士	法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (54) <平成30年4月> 文学修士	統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化I(プロジェクト演習) インターンシップI インターンシップII
兼任	教授	福本 あおい(英) (52) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	商法
兼任	教授	末吉 洋文 (43) <平成30年4月> 博士(学術)	スポーツマネジメント
兼任	准教授	浦井 善宏 (61) <平成30年4月> 体育学学士	スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文化
兼任	准教授	川添 一郎 (49) <平成30年4月> 修士(言語文化学)	日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)A 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情A 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)B 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊森 浩幸 (57) <平成30年4月> 博士(文学)	日本史概説A
兼任	教授	佐野 隆 (57) <平成30年4月> 法学修士	法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (55) <平成30年4月> 文学修士	統計・情報C(リサーチ入門) インターンシップI インターンシップII
兼任	教授	福本 あおい(英) (53) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	商法
兼任	教授	末吉 洋文 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	スポーツマネジメント
兼任	准教授	浦井 善宏 (62) <平成30年4月> 体育学学士	スポーツマネジメント スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文化
兼任	准教授	川添 一郎 (50) <平成30年4月> 修士(言語文化学)	日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)A 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情C 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)B 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊森 浩幸 (58) <平成30年4月> 博士(文学)	日本史概説A
兼任	准教授	花田 卓司 (38) <平成31年4月> 博士(文学)	日本史概説A
兼任	教授	佐野 隆 (58) <平成30年4月> 法学修士	法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (56) <平成30年4月> 文学修士	インターンシップI インターンシップII
兼任	教授	福本 あおい(英) (54) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	商法
兼任	教授	末吉 洋文 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	スポーツマネジメント
兼任	准教授	浦井 善宏 (63) <平成30年4月> 体育学学士	スポーツマネジメント スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文化
兼任	准教授	川添 一郎 (51) <平成30年4月> 修士(言語文化学)	日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情A 日本事情C 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊森 浩幸 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	日本史概説A
兼任	准教授	花田 卓司 (39) <平成31年4月> 博士(文学)	日本史概説A 日本史概説B
兼任	教授	佐野 隆 (59) <平成30年4月> 法学修士	法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (57) <平成30年4月> 文学修士	統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化H(地域と社会貢献)
兼任	教授	福本 あおい(英) (55) <平成30年4月> 博士(国際公共政策)	商法
兼任	教授	末吉 洋文 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	スポーツマネジメント
兼任	准教授	浦井 善宏 (64) <平成30年4月> 体育学学士	スポーツマネジメント スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文化
兼任	准教授	川添 一郎 (52) <平成30年4月> 修士(言語文化学)	日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情A 日本事情C 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情D

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 准教授		馬場(西村) 文 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	法学概論
兼任 准教授		谷 美奈 (48) <平成30年4月> 修士(人間・環境学)	日本語表現 特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任 准教授		河口 充勇 (44) <平成30年4月> 博士(社会学)	統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化A(社会学)
兼任 准教授		小谷(重藤) 早稚江 (43) <平成30年4月> Ph. D.(米園)	英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 特別講義 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ ニュージーランド) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ ニュージーランド)
兼任 准教授		西尾 元伸 (41) <平成30年4月> 博士(文学)	歴史・文化E(文学の世界)
兼任 准教授		奥村(保田) 玲香 (40) <平成30年4月> M. A.(米園)	英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ アメリカ) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ アメリカ)
兼任 講師		關 誠 (40) <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治) 政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 准教授		馬場(西村) 文 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	法学概論
兼任 准教授		谷 美奈 (49) <平成30年4月> 修士(人間・環境学)	日本語表現 特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任 教授		河口 充勇 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)	統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化A(社会学)
兼任 准教授		小谷(重藤) 早稚江 (44) <平成30年4月> Ph. D.(米園)	英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語S 特別講義 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ ニュージーランド) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ ニュージーランド)
兼任 准教授		奥村(保田) 玲香 (41) <平成30年4月> M. A.(米園)	英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ アメリカ) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ アメリカ)
兼任 准教授		關 誠 (41) <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治) 政治学 日本事情C 日本事情D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 准教授		馬場(西村) 文 (50) <平成30年4月> 修士(法学)	法学概論
兼任 准教授		谷 美奈 (50) <平成30年4月> 修士(人間・環境学)	日本語表現 特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任 教授		河口 充勇 (46) <平成30年4月> 修士(社会学)	社会・文化A(社会学)
兼任 准教授		小谷(重藤) 早稚江 (45) <平成30年4月> Ph. D.(米園)	英語C 英語D 英語S 特別講義 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ ニュージーランド) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ ニュージーランド) 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ アメリカ) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ アメリカ)
兼任 准教授		奥村(保田) 玲香 (42) <平成30年4月> M. A.(米園)	(育児休暇中)
兼任 准教授		關 誠 (42) <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	歴史・人文A(世界近現代史) 政治学 日本事情C 日本事情D
兼任 講師		小西 浩嗣 (57) <平成31年4月> 修士(心理学)	特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 准教授		馬場(西村) 文 (51) <平成30年4月> 修士(法学)	法学概論
兼任 准教授		谷 美奈 (51) <平成30年4月> 修士(人間・環境学)	日本語表現 特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任 教授		河口 充勇 (47) <平成30年4月> 修士(社会学)	社会・文化A(社会学) 統計・情報C(リサーチ入門)
兼任 准教授		小谷(重藤) 早稚江 (46) <平成30年4月> Ph. D.(米園)	英語C 英語D 英語S 特別講義 特別講義(海外文化事情Ⅰ・ アメリカ) 特別講義(海外文化事情Ⅱ・ アメリカ)
兼任 准教授		奥村(保田) 玲香 (43) <平成30年4月> M. A.(米園)	英語A 大学英語入門
兼任 准教授		關 誠 (43) <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	歴史・人文A(世界近現代史) 政治学 日本事情C 日本事情D
兼任 講師		小西 浩嗣 (58) <平成31年4月> 修士(心理学)	特別講義

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	落合 史生 (70) <平成30年4月> 理学博士
		科学D (環境科学)
兼任	講師	中嶋 和久 (69) <平成30年4月> 文学修士
		歴史・人文C (哲学の世界)
兼任	講師	梶本 元信 (68) <平成30年4月> 博士 (経済学)
		西洋経済史 経済学 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (67) <平成30年4月> 理学博士
		科学B (現代の科学技術) 経済のためのデータ処理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中谷 克己 (72) <平成30年4月>
		歴史・文化E (文学の世界)
兼任	講師	落合 史生 (71) <平成30年4月> 理学博士
		科学D (環境科学)
兼任	講師	中嶋 和久 (70) <平成30年4月> 文学修士
		歴史・人文C (哲学の世界)
兼任	講師	梶本 元信 (69) <平成30年4月> 博士 (経済学)
		西洋経済史 経済学 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (68) <平成30年4月> 理学博士
		科学B (現代の科学技術) 経済のためのデータ処理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	飛世 昭裕 (60) <平成31年4月> 法学修士
		インターンシップI
兼任	准教授	JACK VICTOR BOWER (44) <平成31年4月> Ph. D
		英語A 英語G
兼任	講師	中谷 克己 (73) <平成30年4月>
		歴史・文化E (文学の世界)
兼任	講師	落合 史生 (72) <平成30年4月> 理学博士
		科学D (環境科学)
兼任	講師	梶本 元信 (70) <平成30年4月> 博士 (経済学)
		西洋経済史 経済学 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (69) <平成30年4月> 理学博士
		科学B (現代の科学技術) 経済のためのデータ処理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	飛世 昭裕 (61) <平成31年4月> 法学修士
		インターンシップI インターンシップII
兼任	准教授	JACK VICTOR BOWER (45) <平成31年4月> Ph. D
		英語A 英語B 英語D 英語G 大学英語入門 大学英語基礎 特高講義 (海外文化事情I・ ニュージーランド) 特殊講義 (海外文化事情II・ ニュージーランド)
兼任	講師	中谷 克己 (74) <平成30年4月>
		歴史・人文E (文学の世界)
兼任	講師	渡部 宏 (37) <令和2年4月> 農学博士
		科学D (環境科学)
兼任	講師	梶本 元信 (71) <平成30年4月> 博士 (経済学)
		西洋経済史 経済学 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (69) <平成30年4月> 理学博士
		科学B (現代の科学技術) 経済のためのデータ処理

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	豊永 智恵子 (66) <平成30年4月> 文学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (65) <平成30年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	鎌田 勇雄 (65) <平成30年4月> 理学士
		統計・情報A(ビジネス数学)
兼任	講師	平山 篤子 (65) <平成30年4月> 博士(文学)
		社会・文化D(異文化の理解) スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)
兼任	講師	甲斐 弓子 (64) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・文化F(奈良学)
兼任	講師	中路(善田) のぶ代 (64) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・人文D(芸術の世界)
兼任	講師	菅 万希子 (63) <平成31年4月> M.B.A 博士(経済学)
		消費者行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	豊永 智恵子 (67) <平成30年4月> 文学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (66) <平成30年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	鎌田 勇雄 (66) <平成30年4月> 理学士
		統計・情報A(ビジネス数学)
兼任	講師	平山 篤子 (66) <平成30年4月> 博士(文学)
		社会・文化D(異文化の理解) スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)
兼任	講師	甲斐 弓子 (65) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・文化F(奈良学)
兼任	講師	中路(善田) のぶ代 (65) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・人文D(芸術の世界)
兼任	講師	菅 万希子 (64) <平成31年4月> M.B.A 博士(経済学)
		消費者行動論 観光ビジネス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	豊永 智恵子 (68) <平成30年4月> 文学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (67) <平成30年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	鎌田 勇雄 (67) <平成30年4月> 理学士
		統計・情報A(ビジネス数学)
兼任	講師	平山 篤子 (67) <平成30年4月> 博士(文学)
		社会・文化D(異文化の理解) 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)
兼任	講師	寺尾 美登里 (49) <平成31年4月>
		スペイン語Ⅰ
兼任	講師	甲斐 弓子 (66) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・文化F(奈良学)
兼任	講師	中路(善田) のぶ代 (66) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・人文D(芸術の世界)
専任	講師	菅 万希子 (65) <平成31年4月> M.B.A 博士(経済学)
		消費者行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	豊永 智恵子 (69) <平成30年4月> 文学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (68) <平成30年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	鎌田 勇雄 (68) <平成30年4月> 理学士
		統計・情報A(ビジネス数学) 特殊講義(ビジネス能力非言語)
兼任	講師	甲斐 弓子 (67) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・文化F(奈良学)
兼任	講師	中路(善田) のぶ代 (67) <平成30年4月> 博士(学術)
		歴史・人文D(芸術の世界)
兼任	講師	菅 万希子 (65) <平成31年4月> M.B.A 博士(経済学)
		消費者行動論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	浅川(山口) 千尋 (62) <平成31年4月> 法学修士	日本国憲法A 日本国憲法B
兼任	講師	丸山 政行 (59) <平成31年4月> 博士(経営学)	旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (58) <平成31年4月> 修士(法学)	ファイナンシャル・プランニング演習A ファイナンシャル・プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (56) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語I フランス語II
兼任	講師	久富 健治 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)	国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	黄 鎮杰 (54) <平成30年4月> 修士(文学)	ハングルI ハングルII
兼任	講師	井戸田 博樹 (52) <平成31年4月> 博士(経済学)	情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (52) <平成30年4月> Ph. D.	社会・文化A(社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	浅川(山口) 千尋 (63) <平成31年4月> 法学修士	日本国憲法A 日本国憲法B
兼任	講師	丸山 政行 (60) <平成31年4月> 博士(経営学)	旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (59) <平成31年4月> 修士(法学)	ファイナンシャル・プランニング演習A ファイナンシャル・プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (57) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語I フランス語II
兼任	講師	久富 健治 (55) <令和2年4月> 博士(経済学)	国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	黄 鎮杰 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	ハングルI ハングルII
兼任	講師	井戸田 博樹 (53) <平成31年4月> 博士(経済学)	情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (53) <平成30年4月> Ph. D.	社会・文化A(社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	浅川(山口) 千尋 (64) <平成31年4月> 法学修士	日本国憲法A 日本国憲法B
兼任	講師	丸山 政行 (61) <平成31年4月> 博士(経営学)	旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (60) <平成31年4月> 修士(法学)	特殊講義(ファイナンシャルプランニング発展A) 特殊講義(ファイナンシャルプランニング発展B) ファイナンシャル・プランニング演習A ファイナンシャル・プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (58) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語I フランス語II
兼任	講師	久富 健治 (56) <令和2年4月> 博士(経済学)	国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	黄 鎮杰 (56) <平成30年4月> 修士(文学)	ハングルI
兼任	講師	井戸田 博樹 (54) <平成31年4月> 博士(経済学)	情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (54) <平成30年4月> Ph. D.	社会・文化A(社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	浅川(山口) 千尋 (65) <平成31年4月> 法学修士	日本国憲法A 日本国憲法B
兼任	講師	丸山 政行 (62) <平成31年4月> 博士(経営学)	旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (61) <平成31年4月> 修士(法学)	特殊講義(ファイナンシャルプランニング発展A) 特殊講義(ファイナンシャルプランニング発展B) ファイナンシャル・プランニング演習A ファイナンシャル・プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (59) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語I フランス語II
兼任	講師	久富 健治 (57) <令和2年4月> 博士(経済学)	国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	井戸田 博樹 (55) <平成31年4月> 博士(経済学)	情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (55) <平成30年4月> Ph. D.	社会・文化A(社会学)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (51) <平成30年4月> 博士(医学)
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (50) <平成30年4月> 修士(教育学)
		経済・経営のための文章入門
兼任	講師	塩 卓悟 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	鈴木 紀子 (48) <平成30年4月> 博士(学術)
		統計・情報B(ビジネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (47) <平成30年4月> 修士(社会学)
		社会・文化C(情報と社会) 社会・文化E(世界の宗教)
兼任	講師	中村 彰宏 (46) <平成31年4月> 博士(商学)
		キャリア演習F
兼任	講師	斉藤 宗之 (44) <令和2年4月> 博士(経済学)
		国際経済学 国際経済事情

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (52) <平成30年4月> 博士(医学)
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (51) <平成30年4月> 修士(教育学)
		経済・経営のための文章入門
兼任	講師	塩 卓悟 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	渡辺 秀行 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計・情報B(ビジネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (48) <平成30年4月> 修士(社会学)
		社会・文化C(情報と社会) 社会・文化E(世界の宗教) 日本語表現
兼任	講師	中村 彰宏 (47) <平成31年4月> 博士(商学)
		キャリア演習F
兼任	講師	斉藤 宗之 (45) <令和2年4月> 博士(経済学)
		国際経済学 国際経済事情

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (53) <平成30年4月> 博士(医学)
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (52) <平成30年4月> 修士(教育学)
		経済・経営のための文章入門
兼任	講師	塩 卓悟 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	渡辺 秀行 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計・情報B(ビジネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (49) <平成30年4月> 修士(社会学)
		社会・文化C(情報と社会) 社会・文化E(世界の宗教) 日本語表現
兼任	講師	斉藤 宗之 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)
		国際経済学 国際経済事情

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (54) <平成30年4月> 博士(医学)
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (53) <平成30年4月> 修士(教育学)
		経済・経営のための文章入門 特殊講義(ビジネス能力養成)
兼任	講師	塩 卓悟 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	渡辺 秀行 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計・情報B(ビジネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (50) <平成30年4月> 修士(社会学)
		社会・文化C(情報と社会) 社会・文化E(世界の宗教) 日本語表現 宗教学
兼任	講師	斉藤 宗之 (47) <令和2年4月> 博士(経済学)
		国際経済学 国際経済事情

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕貴 (46) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)
		社会・文化G(ボランティア論) 社会・文化H(地域と社会貢献)
兼任	講師	宮田 昌明 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史概説B
兼任	講師	類 順子 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (44) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)
		哲学概説A 哲学概説B
兼任	講師	林 志煥 (44) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルI ハングルII

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕貴 (47) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)
		社会・文化H(地域と社会貢献)
兼任	講師	反田 博俊 (84) <平成30年4月> 教育学士
		社会・文化G(ボランティア論)
兼任	講師	宮田 昌明 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史概説B
兼任	講師	類 順子 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (45) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (44) <平成31年4月> 博士(哲学)
		哲学概説A 哲学概説B
兼任	講師	林 志煥 (45) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルI ハングルII

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕貴 (48) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)
		社会・文化H(地域と社会貢献)
兼任	講師	反田 博俊 (85) <平成30年4月> 教育学士
		社会・文化G(ボランティア論)
兼任	講師	宮田 昌明 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史概説B
兼任	講師	類 順子 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (45) <平成31年4月> 博士(哲学)
		哲学概説A 歴史・人文C(哲学の世界)
兼任	講師	西 章 (41) <平成31年4月> 博士(哲学)
		哲学概説B
兼任	講師	林 志煥 (46) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルI ハングルII

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕貴 (49)
兼任	講師	類 順子 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (46) <平成31年4月> 博士(哲学)
		哲学概説A 哲学概説B 歴史・人文C(哲学の世界)
兼任	講師	林 志煥 (47) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルI ハングルII

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (44) <平成30年4月> 修士(国際公共政策)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (44) <平成30年4月> 博士(理学)
		科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (42) <平成30年4月> 修士(教育学)
		社会・文化F(人権と社会) スポーツマネジメント
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (42) <平成30年4月> 修士(経済学)
		暮らしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (41) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (41) <平成30年4月> 修士(法学)
		歴史・人文B(日本近現代史)
兼任	講師	門浦 智 (40) <平成30年4月> 学士(経済学)
		TF(Tezukayama Family)講座
兼任	講師	小柴 昌也 (40) <平成30年4月> 博士(法学)
		TF(Tezukayama Family)講座 民法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (45) <平成30年4月> 修士(国際公共政策)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (45) <平成30年4月> 博士(理学)
		科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (43) <平成30年4月> 修士(教育学)
		社会・文化F(人権と社会) スポーツマネジメント
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (43) <平成30年4月> 修士(経済学)
		暮らしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (42) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (42) <平成30年4月> 修士(法学)
		歴史・人文B(日本近現代史)
兼任	講師	門浦 智 (41) <平成30年4月> 学士(経済学)
		TF(Tezukayama Family)講座
兼任	講師	小柴 昌也 (41) <平成30年4月> 博士(法学)
		TF(Tezukayama Family)講座 民法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (46) <平成30年4月> 修士(国際公共政策)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (44) <平成30年4月> 修士(教育学)
		社会・文化F(人権と社会)
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (44) <平成30年4月> 修士(経済学)
		暮らしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (43) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (43) <平成30年4月> 修士(法学)
		歴史・人文B(日本近現代史) 歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治)
兼任	講師	門浦 智 (42) <平成30年4月> 学士(経済学)
		TF(Tezukayama Family)講座
兼任	講師	小柴 昌也 (42) <平成30年4月> 博士(法学)
		TF(Tezukayama Family)講座 民法 特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (47) <平成30年4月> 修士(国際公共政策)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (45) <平成30年4月> 修士(教育学)
		社会・文化F(人権と社会)
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (45) <平成30年4月> 修士(経済学)
		暮らしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (44) <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (44) <平成30年4月> 修士(法学)
		歴史・人文B(日本近現代史) 歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治)
兼任	講師	門浦 智 (43) <平成30年4月> 学士(経済学)
		TF(Tezukayama Family)講座
兼任	講師	小柴 昌也 (43) <平成30年4月> 博士(法学)
		TF(Tezukayama Family)講座 民法 特別講義

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関岡 有季 (40) <平成30年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ心理学 スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (40) <平成30年4月> 学士(生活環境学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (39) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説B
兼任	講師	穂原 寿謙 (37) <平成30年4月> 博士(経営学)
		マーケティング論
兼任	講師	衣川 竜也 (38) <平成30年4月> 学士(法学)
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	安田 良子 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		スポーツトレーニング論
兼任	講師	青木 拓巳 (28) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツトレーニング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関岡 有季 (41) <平成30年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ心理学
兼任	講師	田淵 悟志 (36) <平成30年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (41) <平成30年4月> 学士(生活環境学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説B
兼任	講師	穂原 寿謙 (38) <平成30年4月> 博士(経営学)
		マーケティング論
兼任	講師	衣川 竜也 (39) <平成30年4月> 学士(法学)
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	青木 拓巳 (28) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツトレーニング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関岡 有季 (42) <平成30年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ心理学
兼任	講師	田淵 悟志 (37) <平成30年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (42) <平成30年4月> 学士(生活環境学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史概説B
兼任	講師	衣川 竜也 (40) <平成30年4月> 学士(法学)
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	青木 拓巳 (29) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツトレーニング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関岡 有季 (43) <平成30年4月> 修士(スポーツ科学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	田淵 悟志 (38) <平成30年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (43) <平成30年4月> 学士(生活環境学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会・文化D(興文化の理解) 西洋史概説B
兼任	講師	青木 拓巳 (29) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツトレーニング論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 陽平 (28) <平成30年4月> 修士(政策科学)
		特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 特殊講義(アドバンスプログラムC)
兼任	講師	尾崎 卓 (29) <平成30年4月> 修士(心理学)
		科学E(行動科学)
兼任	講師	法 弁 (27) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		科学E(行動科学)
兼任	講師	松尾 浩希 (28) <平成30年4月> 学士(理学療法学)
		スポーツ医学 スポーツマネジメント
兼任	講師	福本 貴彦 (44) <平成30年4月> 修士(医科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	渡邊 昌史 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		スポーツの歴史と文化
兼任	講師	上嵐 真司 (53) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本事情C 日本事情D
兼任	講師	大橋 範子 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語C 英語D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 陽平 (29) <平成30年4月> 修士(政策科学)
		特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 特殊講義(アドバンスプログラムC)
兼任	講師	法 弁 (28) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		科学E(行動科学)
兼任	講師	福本 貴彦 (45) <平成30年4月> 修士(医科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	渡邊 昌史 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		スポーツの歴史と文化
兼任	講師	上嵐 真司 (54) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本事情C 日本事情D
兼任	講師	大橋 範子 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語C 英語D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 陽平 (30) <平成30年4月> 修士(政策科学)
		特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 特殊講義(アドバンスプログラムC)
兼任	講師	法 弁 (28) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		科学E(行動科学)
兼任	講師	福本 貴彦 (46) <平成30年4月> 修士(医科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	渡邊 昌史 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		スポーツの歴史と文化
兼任	講師	上嵐 真司 (54) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本事情C 日本事情D
兼任	講師	大橋 範子 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語C 英語D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	法 弁 (29) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		科学E(行動科学)
兼任	講師	福本 貴彦 (46) <平成30年4月> 修士(医科学)
		スポーツ医学
兼任	講師	渡邊 昌史 (51) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		スポーツの歴史と文化
兼任	講師	上嵐 真司 (55) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本事情C 日本事情D
兼任	講師	大橋 範子 (56) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語C 英語D

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	池田 聖恵子 (34) <令和2年4月> 修士(社会学)
		社会。文化A(社会学)
兼任	講師	本田 知広 (40) <令和2年4月> 学士(経営学)
		スポーツ科学A スポーツ科学B
兼任	講師	伊藤 道郎 (88) <令和2年4月> 修士(体育学)
		スポーツ科学A
兼任	講師	日山 光一郎 (49) <令和2年4月> 学士(法学)
		知記初級演習特殊講義(日南 知記2級商業簿記/特殊論点 編)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・入学者数に応じてクラス数を調整し、担当者を変更し追加
- ・担当予定兼任教員辞退のため、担当者を変更し追加
- ・川岸岳人准教授辞退（退職）のため、担当者の職名の変更及び担当者を変更し追加

【令和元年度】

- ・入学者数に応じてクラス数を調整し、担当者を変更し追加
- ・担当予定兼任教員辞退のため、担当者を変更し追加
- ・教育内容充実による科目の追加のため、担当者を変更し追加
- ・川岸岳人准教授辞退（退職）のため、担当者の職名の変更及び担当者を変更し追加
- ・平成31年4月菅万希子教授就任
- ・平成31年4月薄井健助教就任

【令和2年度】

- ・入学者数に応じてクラス数を調整し、担当者を変更し追加
- ・担当予定兼任教員辞退のため、担当者を変更し追加
- ・教育内容充実による科目の追加のため、担当者を変更し追加
- ・竹本亨教授辞退（退職）のため、担当者の職名の変更及び担当者を変更し追加
- ・令和2年4月中川雅嗣准教授就任
- ・令和2年4月郭チャリ助教就任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	8	1	0	19	0	11	7	1	2	21	0
(12)	(8)	(1)	(0)	(21)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	7	1	2	21	0	11	7	1	2	21	0
[1]	[Δ1]	[0]	[2]	[2]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[2]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{19} = \boxed{110.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由								
1		該当なし													
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)											
就任を辞退した教員数				①の合計数 (a)				②の合計数 (b)				③の合計数 (c)			
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1	教授	竹本 亨	R2.3	必修	経済学概論	①	自己都合のため退職 (2)								
				選択	財政学	②									
				選択	専門導入演習	①									
				必修	基礎演習 I	①									
				選択	演習 I	①									
				選択	地方財政学	②									
				必修	基礎演習 II	①									
				必修	マクロ経済学入門	①									
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)											
辞任した教員数				①の合計数 (a)				②の合計数 (b)				③の合計数 (c)			
		必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	8	科目	計	6	科目	計	2	科目	計	0	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)											
辞任等した教員数				①の合計数 (a)				②の合計数 (b)				③の合計数 (c)			
		必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	8	科目	計	6	科目	計	2	科目	計	0	科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{19} = 5.26 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	益田 照雄	選択	統計学入門	②	定年退職(2)					
			選択	経済経営のための数学入門	②						
			選択	経営科学	②						
			選択	IT概論	②						
			選択	経営のための情報科学	②						
合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	5	科目	選択	0	科目	選択	5	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	5	科目	計	0	科目	計	5	科目	計

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

同一の教員が兼任教員として科目を担当するため、実質的には学生の履修に不利益が生じないように対応した。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
認 可 時 (平成29年)	○帝塚山大学文学部日本文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成30年度入学者から、該当学部学科の教育課程の全面的な見直しを行い、独創的で魅力的な学科へと転換を図った。その結果、平成30年度は入学定員を上回る入学者が確保できた。(30)	履行済
設置計画履行状況調査時 (平成30年)	○入学定員の超過に努めること。(経済経営学部経済経営学科) ○帝塚山大学の既設学部等(現代生活学部居住空間デザイン学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	平成31年度入試より、該当学部学科の入試政策における定員管理の一層の厳格化を行った。その結果、平成31年度入試において、経済経営学部経済経営学科の入学定員充足率は1.19となった。また、現代生活学部居住空間デザイン学科は、入学定員充足率が1.24となり改善を図ることができました。(元)	履行済
設置計画履行状況調査時 (令和元年)	○帝塚山大学の既存学科等(現代生活学部居住空間デザイン学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	令和元年度入試においても募集環境の変化を念頭に置いて入試政策における定員管理の一層の厳格化を行ったが、結果として入学定員充足率は昨年同様1.24となった。(2)	履行中
設置計画履行状況調査時 (平成□□年)	該当なし			
設置計画履行状況調査時 (平成□□年)	該当なし			
設置計画履行状況調査時 (平成□□年)	該当なし			

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経済経営学部 経済経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>設置に際して提出した設置計画書に、教育方法、履修指導方法として記載した内容は、学生が大学キャンパスに登校し、教室や演習室等において教員と学生が対面授業の形式で講義科目、演習科目を受講することを前提としていた。アドバイザー教員による指導も同様に対面を前提に記述していた。また学年暦にしたがい、あらかじめ示した「授業計画（シラバス）」に基づき、授業を行い、成績評価、単位認定等を行うこととしていた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度前期授業は、学生を大学に登校させての対面授業が出来なくなり、在宅等での遠隔授業を中心とした授業運営に変更せざるを得なかった。このため、当初計画していた対面での教育方法、履修指導方法をインターネット環境を利用したオンラインによる方法に変更することになった。このため、「令和2年度における大学等の授業の開始等について」（令和2年3月24日 元文科高第1259号・文部科学省高等教育局長通知）に記載の「2. 学事日程等の取扱いについて」の内容を受け、次のように対応している。</p> <p>1. 「学事日程」に関しては、変更を行わず、当初定められた学年暦通りに進めている。</p> <p>2. 「授業計画（シラバス）」に関しては、前期授業期間は、基本的に大学キャンパスで教員と学生との対面授業を実施せず、在宅等での遠隔授業を行うこととした関係から、シラバス記載項目のうち、「授業方法」「成績評価の方法と基準」及び「授業計画」について、変更があったものを修正した。このことについては担当教員から学生に明示した上で運用している。</p> <p>※学生に対しては、今般の諸対応について、大学ホームページだけでなく、電子メールを用いて連絡するなど、丁寧な説明を行っている。また、大学全体として家庭における情報通信環境を尋ねる調査を行い、遠隔授業への対応の状況を把握するとともに、同調査の結果に応じてアドバイザー教員による学生への連絡・指導を行っている。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学における全学的な教育施策の企画及び開発、教育活動の継続的な整備・改善の推進及び支援、並びにFD推進の企画及び大学教育の充実と発展に寄与することを目的として「全学教育開発センター」を設置し、関係する議案を審議するため、「全学教育開発センター運営委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>センター長の他、学部から選出された教員（各学部1または2名）、事務職員（3名）により、年間15回の会議を実施した（令和元年度実績）。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教員の資質の維持向上の方策については、授業改善アンケート、公開授業、公開授業週間、学生ヒアリング、FDフォーラム等の教員の資質の維持向上に係る案件を審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善アンケートの実施および結果を踏まえた意見交換会の実施（前期、後期） ・ 公開授業の実施および参観者からの意見を踏まえた授業検討会の実施（前期） ・ 公開授業週間の実施および参観者からの意見を踏まえた授業検討会の実施（後期） ・ 学生ヒアリングの実施 ・ FDフォーラムの開催（年2回） ・ シラバス作成のためのFD（年1回） ・ 外部のFD関係研修会への参加と報告会の実施
--

b 実施方法

- ・授業改善アンケートは、実施期間を決め、授業担当教員の最も履修者数の多い科目について実施し、教学支援課（学部事務共通）がその結果を取りまとめ、各教員にフィードバックする。また、アンケート結果を踏まえ、学内FDとして意見交換会を実施する。
- ・公開授業は、前期は各学部からの選出者が各1回、後期は原則全専任教員が全授業を公開し、参観者からの意見は教学支援課（学部事務共通）を取りまとめ、各教員にフィードバックする。その意見を踏まえ、学内FDとして授業検討会を実施する。
- ・学生ヒアリングは前・後期の授業改善アンケート実施後に行い、授業改善アンケートおよび学部の教育環境について意見を聴取する。
- ・FDフォーラムは、本学が取り組みたいと考えている課題に向けて、学内外の識者を講師として招き、講演やグループワーク等の形式で開催する。
- ・シラバス作成のためのFDは、次年度のシラバス作成にあたって注意すべき点等についての説明会を各学部で実施する。
- ・外部のFD関係研修会への積極的な参加を促し、参加者は所属学部において報告会を実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業改善アンケートは、前期5月～6月、後期11月の年2回、原則として専任・非常勤を問わず、1人1科目実施し、教授会内でアンケート結果を踏まえた意見交換会を実施した。
- ・前期の公開授業は6月、7月に実施し、令和元年度の専任教員の参観申込率は96.4%であった。後期の公開授業は全専任教員が原則全科目を公開し、令和元年度専任教員の参観申込率100%であった。前期、後期とも教授会内で、参観者の意見を踏まえた検討会を実施した。
- ・学生ヒアリングは、全学教育開発センター運営委員が学部生に対して実施し、授業改善アンケートおよび教育環境についての意見を聴取した。
- ・FDフォーラムは年2回実施し、令和元年度は、学外の大学教員に「学生の心に灯をつけられたかー10年間の自校教育の経験よりー」および「子どもたちのメディア環境の変化と学校・学校外でのICT等の活用の動向」と題して講演いただいた。参加者は、第1回（9月）106人、第2回（2月）74人であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業改善アンケートの結果を踏まえ、授業改善に活かすことができるように、各授業担当者からの意見聴取を継続して行った。教員からの授業改善方法の部分については、昨年度に引き続き、学内サーバーで学生及び教職員に公開した。さらに、授業改善を促すために、昨年度に引き続き、本学の教員が授業で工夫している点をまとめた「ティーチング・ティップス集」を配付した。
- ・公開授業の終了後には、参加教員による授業検討会を実施し、それぞれの授業に取り入れてもらうように依頼した。
- ・年度のまとめとして「FD報告集」を刊行し、本学の学術機関リポジトリに公開して情報を共有した（令和2年3月刊行）。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。

令和元年度実施時期＝前期：5月27日（月）～6月8日（土）、後期：11月4日（月）～11月15日（金）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業改善アンケート（前・後期）実施後に教員から提出された「結果を踏まえた授業改善方法」を学内サーバーで原文のまま教職員及び学生に公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済経営学部経済経営学科では、「経済を理解した経営」と「経営を考えた経済」という視点を持ち、現実社会で「答えのない問題」を発見し解決することができる人材が今後ますます求められるという認識のもと、「幅広い教養と経済学及び経営学の専門的知識・技能を身に付け、国際的視野に立って地域社会を理解し、その発展に積極的に貢献できる人材を養成する」ことを目的としている。したがって、本学部本学科では、経済学分野と経営学分野のさまざまな知識と技能を学ぶ科目、その知識や技能をを実際の社会で活用する能力を修得する科目、ビジネスの共通言語としてのIT・簿記・外国語を学ぶ科目、キャリア形成を見据え理論と実践の両面に配慮した科目等を開講し、以下の教育方法、履修指導方法、卒業要件に基づき、人材養成目的に沿った有為な人材を育成している。

本学部開講科目は、主に講義と演習の2つの授業形態から構成され、これらを適切に組み合わせることで、経済学と経営学の専門知識だけでなく、その活用と実践的スキルを身につけることができる。本学科で開講する講義と演習科目では、産官学連携によるプロジェクト型学習やアクティブ・ラーニングの要素を積極的に取り入れた授業を通して、学生が主体的に問題を発見・分析・解決する能力や行動・表現・協働する力を身につけることができる。また、本学科では、教育効果を高めるために、可能な限り少人数クラスで授業を運営している。

1年次に履修する「専門科目」の「Ⅰ群・専門基礎科目」における必修科目（「経済学概論」と「経営学概論」、「ミクロ経済学入門」、「マクロ経済学入門」、「簿記入門A」）では、複数クラスの開講により少人数編成とすることで目の行き届いた基礎教育を実践し、2年次以降のより専門性の高い科目履修のための土台作りを行う。これらの科目履修を前提として、2年次以降は将来の進路・就職を見据えた『5つのプログラム』に対応した履修モデルに沿って、「専門科目」の「Ⅱ群・経済科目群」及び「Ⅱ群・経営科目群」に設置される科目を基礎から応用科目へと順次バランスよく履修し、さらに各自のプログラムや大学入学までの学修状況に応じてそれぞれにとって必要となる科目を「専門科目」の「Ⅰ群・専門基礎関連科目」と「Ⅱ群・共通科目群」から選択して履修するよう指導することで、幅広い専門知識を体系的に身につける。

このほか、履修ガイダンス時には、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」の説明を行うとともに、履修ガイダンスにおいて5つのプログラムに準じた履修モデル等を掲載した「履修要項」を用い、教育課程を丁寧に説明している。また、学部全教員と上級生が参加する「体験セミナー『キャンパスライフの第一歩』」を実施し、様々なグループワークやゲームに取り組みながら、大学で学ぶ意義や目的を確認し、友人を作り、上級生や教員との信頼関係を構築している。

これらの取り組みの成果もあり、昨年度後期に実施した学生の学習行動調査では、これまでに身についたと思う「力」や「知識」についての設問に対しては、「主体性（48.0%）」や「実行力（30.1%）」、「計画力（23.1%）」を挙げる学生が多く、実学教育を推進する本学の教育方針に沿った結果が得られている。

総じて、当初計画を実行して、教育活動に当たっている現状であり、今後も、教育方法・運営方法について検証のうえ、さらに改善・工夫を加えていくことを予定している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・自己点検・評価報告書（平成30年度版）を平成31年3月31日付で作成、公表。
- ・自己点検・評価報告書（令和2年度版）については令和3年3月31日付で作成、公表予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、「適合」との評価結果を得た。
- ・次回、令和3年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。